

計画停電に対す Leica 社製品の対応方法

東北関東大震災の影響により、東京電力では本日より計画停電が実施される事になりました。Leica 社製の各装置につきましては、停電前と回復後に確実に実行して頂き、装置を正常な状態に保って頂けます様にお願ひ致します。個別装置の操作方法は、取り扱い説明書を参照下さい。

テッシュュープロセッサ : ASP200/300(S)、Peloris II
染色装置 : BondMax、Bond III

日常的に使用しない場合は、節電の為に電源を切り 使用する時に電源を入れる事を推奨します。

上記装置の制御部は Microsoft Windows® を使用しています。停電による停止はコンピューターの故障につながりますので必ず Windows®のシャットダウン行い、電源を切して下さい。

ASP200/300(S)と Peloris IIではパラフィンの溶融時間が必要ですから電源の再投入から 2 時間～最大 10 時間必要です。

計画停電が始まる前に、処理が終了する時間にプログラムを開始して下さい。

予定終了時間が表示されますが、レトルト層の洗浄時間分を考慮願ひます。

洗浄に要する時間は、30 分～1 時間です。 余裕を見て下さい。

注) レトルト洗浄をする前に停電した場合、パラフィンが融けるまで洗浄が出来ません。

【無人の状態での停電となる事は避けるように御注意下さい。】

BondMax、BondIIIでは、染色プログラムの終了時間を停電時間の前になるようにして下さい。

染色終了後に、制御部の PC をシャットダウンして、本体の電源を切ります。

(数日間使用しない場合は、週末清掃を実施して下さい。)

注) 試薬の冷蔵保管や廃液の廃棄につきましては、取り扱い説明書を参照願ひます。

廃液の処理は、各施設のルールに従い適切に処理してください。

停電回復後に電源を入れるて使用します。

お問い合わせは、サービスコールセンターへお願ひします。

0 1 2 0 - 0 1 9 - 6 3 8

support@leica-microsystems.co.jp

2011 年 3 月 14 日
ライカマイクロシステムズ株式会社
バイオシステムズ事業部
サービスマネジャー 菊池秀生